



平成28年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月8日

上場会社名 岡野バルブ製造株式会社
コード番号 6492 URL <http://www.okano-valve.co.jp/>

上場取引所 東 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡野 正紀
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 木村 浩一

TEL 093-372-9215

四半期報告書提出予定日 平成28年7月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年11月期第2四半期の連結業績(平成27年12月1日～平成28年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年11月期第2四半期	3,321	△2.7	47	△66.9	89	△59.5	57	△46.0
27年11月期第2四半期	3,414	0.8	143	289.0	220	10.7	106	△0.9

(注) 包括利益 28年11月期第2四半期 21百万円 (△84.6%) 27年11月期第2四半期 136百万円 (29.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年11月期第2四半期	3.31	—
27年11月期第2四半期	6.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年11月期第2四半期	10,666		9,077			85.1
27年11月期	11,153		9,091			81.5

(参考) 自己資本 28年11月期第2四半期 9,077百万円 27年11月期 9,091百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年11月期	—	0.00	—	2.00	2.00
28年11月期	—	0.00	—	—	—
28年11月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年11月期の連結業績予想(平成27年12月1日～平成28年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,700	1.0	125	△66.5	345	△44.0	225	△34.2	12.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年11月期2Q	17,930,000 株	27年11月期	17,930,000 株
② 期末自己株式数	28年11月期2Q	569,642 株	27年11月期	569,342 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年11月期2Q	17,360,539 株	27年11月期2Q	17,363,501 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期(連結)財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融緩和政策等を背景に緩やかな景気回復の動きが見られたものの、円高・株安の進行に加え、中国をはじめとする新興国の景気減速懸念など先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループは、発電プラント用バルブの製造販売およびメンテナンスを主要事業としておりますが、東日本大震災以降、収益が大幅に減少しており、引き続き限られた事業環境での活動が続いております。

このような状況の下、バルブ事業におきましては、国内では西名古屋火力発電所7号系列や中山名古屋共同発電などの新設火力発電所向けや柏崎刈羽原子力発電所6号機、7号機向け震災対策弁の販売に注力したほか、海外では台湾、モロッコの新設火力プラント案件の売上が伸びました。しかしながら、期初に予定しておりました原子力関連の売上が下期に繰延べとなったため、前年同期に比べ減収となりました。

また、メンテナンス事業におきましては、柏崎刈羽原子力発電所の復興関連工事や福島第二原子力発電所の点検工事が売上の中心となりましたが、柏崎刈羽原子力発電所の案件で一部繰延べが生じたほか、その他の火力発電所向け工事や復興関連工事が小規模な案件に終始したため、売上高は引き続き低調なままで推移いたしました。

損益面におきましては、メンテナンス事業で売上高不足が継続したことや、バルブ事業において生産量が減少し、工場稼働率が低下したことなどから売上総利益が低下しました。また、上期に計上が予定されていた受取補償金が下期に先送りとなったことも影響し、利益面は前年同期を大幅に下回りました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高3,321百万円(前年同期比2.7%減)、営業利益47百万円(前年同期比66.9%減)、経常利益89百万円(前年同期比59.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益57百万円(前年同期比46.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ487百万円減少し、10,666百万円となりました。この主な要因は、仕掛品が255百万円増加した一方で、現金及び預金が43百万円、受取手形及び売掛金が503百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ473百万円減少し、1,588百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が150百万円、未払法人税等が161百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ13百万円減少し、9,077百万円となりました。この主な要因は利益剰余金が22百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が41百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

下期につきましては、バルブ事業では引き続き西名古屋火力発電所向けや台湾の新設火力プラント向けなどの大型案件が予定されておりますが、東通原子力発電所向け震災対策弁の販売が次期に繰延べとなったことなどから、売上高は前期を下回る見込みです。一方、メンテナンス事業におきましては、上期からの繰延べ案件に加え、柏崎刈羽原子力発電所向け大型案件や浜岡原子力発電所の点検工事等が予定されており、売上高は回復に向かうものと見込んでおります。これらのことから、バルブ事業・メンテナンス事業を合わせた全体の売上高は前期並みにとどまるものと思われまます。

損益面におきましては、引き続きバルブ事業での生産量不足に伴い工場稼働率が低下し、製造原価の上昇が見込まれるため、厳しい状況で推移することが予想されます。

なお、現時点においては平成28年6月22日に修正いたしました通期業績予想数値に変更はありません。

ただし、これらの予想および進捗は、今後の受注環境や顧客納期の変更等、様々な要因により変動する可能性を含んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,110,439	2,066,583
受取手形及び売掛金	4,470,783	3,966,941
製品	144,690	116,411
仕掛品	1,264,505	1,519,824
原材料	48,358	53,574
その他	250,082	239,857
流動資産合計	8,288,859	7,963,191
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	603,365	578,402
機械装置及び運搬具(純額)	1,015,121	945,946
その他(純額)	408,822	388,628
有形固定資産合計	2,027,309	1,912,976
無形固定資産	28,564	24,874
投資その他の資産		
投資有価証券	465,263	431,346
繰延税金資産	234,402	230,836
その他	113,114	107,207
貸倒引当金	△3,600	△3,600
投資その他の資産合計	809,179	765,790
固定資産合計	2,865,053	2,703,642
資産合計	11,153,912	10,666,834

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	409,362	258,574
未払法人税等	175,571	14,426
未払費用	205,512	216,501
賞与引当金	26,900	29,000
その他の引当金	49,659	44,611
その他	185,615	95,847
流動負債合計	1,052,620	658,961
固定負債		
役員退職慰労引当金	234,658	226,944
退職給付に係る負債	754,185	692,767
その他	20,862	10,299
固定負債合計	1,009,706	930,012
負債合計	2,062,327	1,588,973
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,286,250	1,286,250
資本剰余金	543,750	543,750
利益剰余金	7,390,714	7,413,382
自己株式	△197,156	△197,247
株主資本合計	9,023,558	9,046,134
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	65,112	24,059
退職給付に係る調整累計額	2,914	7,666
その他の包括利益累計額合計	68,027	31,725
純資産合計	9,091,585	9,077,860
負債純資産合計	11,153,912	10,666,834

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年5月31日)
売上高	3,414,363	3,321,839
売上原価	2,720,758	2,708,496
売上総利益	693,605	613,343
販売費及び一般管理費		
役員報酬	87,825	91,618
給料手当及び賞与	189,937	194,056
賞与引当金繰入額	430	430
退職給付費用	12,615	11,486
役員退職慰労引当金繰入額	8,725	8,900
減価償却費	12,603	12,404
その他	238,103	246,986
販売費及び一般管理費合計	550,240	565,881
営業利益	143,365	47,461
営業外収益		
受取利息	73	96
受取配当金	2,359	2,613
持分法による投資利益	10,399	11,527
受取賃貸料	15,345	14,667
補助金収入	36,781	2,301
受取補償金	6,148	5,907
その他	9,106	7,732
営業外収益合計	80,215	44,846
営業外費用		
支払利息	493	351
減価償却費	1,829	1,829
固定資産除却損	803	28
その他	183	843
営業外費用合計	3,308	3,052
経常利益	220,271	89,255
税金等調整前四半期純利益	220,271	89,255
法人税、住民税及び事業税	37,400	7,550
法人税等調整額	76,684	24,316
法人税等合計	114,084	31,866
四半期純利益	106,187	57,389
親会社株主に帰属する四半期純利益	106,187	57,389

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年5月31日)
四半期純利益	106,187	57,389
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,669	△41,053
繰延ヘッジ損益	4,812	—
退職給付に係る調整額	7,121	4,752
その他の包括利益合計	30,603	△36,301
四半期包括利益	136,790	21,087
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	136,790	21,087
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	220,271	89,255
減価償却費	161,615	160,803
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,160	2,100
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△17,764	△54,429
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8,725	△7,713
受取利息及び受取配当金	△2,433	△2,709
支払利息	493	351
補助金収入	△36,781	△2,301
受取補償金	△6,148	△5,907
持分法による投資損益(△は益)	△10,399	△11,527
売上債権の増減額(△は増加)	559,241	503,841
たな卸資産の増減額(△は増加)	△219,168	△232,255
仕入債務の増減額(△は減少)	△163,075	△150,788
その他	△29,890	△57,463
小計	465,844	231,255
利息及び配当金の受取額	2,433	2,709
利息の支払額	△493	△351
補助金の受取額	36,781	2,301
補償金の受取額	6,148	—
法人税等の支払額	△64,409	△168,997
営業活動によるキャッシュ・フロー	446,304	66,918
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△7	△7
有形固定資産の取得による支出	△127,567	△41,478
固定資産の除却による支出	△803	—
無形固定資産の取得による支出	—	△1,331
投資有価証券の取得による支出	—	△14,327
投資活動によるキャッシュ・フロー	△128,377	△57,145
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△23,627	△18,665
配当金の支払額	△34,845	△34,879
自己株式の純増減額(△は増加)	△190	△91
財務活動によるキャッシュ・フロー	△58,663	△53,637
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	259,263	△43,863
現金及び現金同等物の期首残高	1,251,579	1,790,415
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,510,843	1,746,552

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年12月1日至平成27年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	バルブ事業	メンテナンス 事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	2,617,085	797,278	3,414,363	—	3,414,363
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,617,085	797,278	3,414,363	—	3,414,363
セグメント利益	382,269	35,107	417,376	△274,011	143,365

(注) 1. セグメント利益の調整額△274,011千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年12月1日至平成28年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	バルブ事業	メンテナンス 事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	2,394,294	927,545	3,321,839	—	3,321,839
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,394,294	927,545	3,321,839	—	3,321,839
セグメント利益	299,374	34,673	334,048	△286,586	47,461

(注) 1. セグメント利益の調整額△286,586千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。